

市民リーグ 試合までのタイムスケジュール徹底について

毎年、反省会の席上において「チームならびに審判員の集合が遅い」、「チェックに来ない」などの意見が各ブロックにて出されています。

試合運営上における試合の遅延・遅刻に棄権試合・本部席担当者の負担増などの問題が発生しております。

試合運営要項にも記載されていますが、一部のチームがルーズで守られていない場面も見受けられます。

各チーム関係者・担当審判員の方々に、再度徹底していただき円滑な試合運営にご協力いただきます様よろしくお願いします。

運営要項抜粋・・・ 第23条 参加者(各チーム)は次の事項を遵守すること。

- 1 試合開始30分前には集合し、試合ができる状態にあること。
10分前には予備審判席にて選手証及び用具のチェックを受けること。
- 2 第1試合のライン引きは審判の指示により両チームにて行うこと。

例：第1試合のキックオフまでのタイムスケジュール

チーム	審判員
8:10	8:10
8:20	8:20
8:30	8:30
8:40	8:40
8:50	8:50
9:00	9:00
キックオフ	キックオフ

キックオフの30～45分前までに
集合の事
ピッチへラインを引く

審判服に着替えて本部席にて
チェックを受ける
審判員打ち合せの実施

選手チェック
先発メンバーは予備審判席にて
チェックを受ける

選手チェック
予備審判席で先発メンバーと選手証
での照合・用具チェックを実施

- * キャプテンが先発メンバーを引き連れて予備審判席へ行く事(チームが自主的に)
- * 用具は全て整えてチェックを受ける事

審 本部席へは主審が他3名と引き連れて行く事(30分前)

審 用具は全て整えてチェックを受ける事

審 選手チェックは、Aチーム(主審+副審2)・Bチームは(副審1+第4審判)で行う

以上

試合運営の流れ

	ゲーム開始前の仕事	ゲーム中の仕事	ゲーム終了後の仕事
チーム	45～60分前に集合 10～15分前にキャプテンが先発メンバーを引き連れ第4審判席に集合し、チェックを受ける - 第1試合時はグラウンドのライン引きを行う事	- キャプテンはキャプテンマークを着用の事(奨励) - ユニホームは同一色を着用の事	- 試合結果用紙に確認してサインをする - 試合後は出来るだけ早くベンチを空ける事 - 最終試合時はグラウンド整備を行う
主審	45～60分前までに集合(主審以下4名揃って) 45分前に集合し本部席にてチェックを受ける(主審以下4名揃って) - グラウンド確認 - 打ち合わせ - 選手のチェック	- ゲームコントロール - 警告・退場のブッキング時間・対象選手・内容 - 試合の時間管理	- 試合結果の記入 副審・第4審と確認 - 試合結果を本部席へ提出
副審	- グラウンド確認 - 主審との打ち合わせ - 選手のチェック	- 主審の援助 - 交代選手の合図	- フラッグを第4の審判員に返す - ライン引き (ハーフタイム&終了)
第4の審判員	- 主審との打ち合わせ - メンバー表、選手表の確認 - 用具の確認 - 試合チームから試合球を預かる	- 交代選手のチェック - 両ベンチのコントロール - 警告・退場のブッキング時間・対象選手・内容 - 試合時間の監視 (タイムキーパ)	- ライン引き (ハーフタイム&終了) - 試合球を各チームに返却 - 選手証ファイル、フラッグを本部へ返却

暑熱下での試合における飲水について

JFAの通達で、「ある条件(気温28℃超)を超えた暑熱下で行われる2～4種の試合では熱中症予防の安全面から、試合中の十分な水分の補給が必要かつ重要であるとしている。豊田市社会人リーグでは、暑熱下の試合では選手・審判も含め飲水タイムで対応します。各チーム代表者、審判員の方々においては、周知徹底を図っていただきますようお願い申し上げます。

- 1、 試合前(あるいはハーフタイム時)に両チームが合意し、審判に飲水タイムの採用を要請する必ずしも実施しなければならないものではなく、天候の変化、気温環境等で主審が必要ないと判断した場合は採用しない(主審の判断)
- 2、 前・後半それぞれの半分の時間を経過したところ(30分ハーフ15～20分ごろ)
試合の流れの中で両チームに有利、不利が生じないようなボールがアウトオブプレーの時に、笛で止めて選手に指示を出して全員に飲水をさせる

具体例 ①センターライン付近(中盤)でのスローイン
 ②GKの時も可能
 ③選手がケガでアウトオブプレーで試合を止めた時

- 3、 選手はあらかじめライン外に置かれているボトルを取るか、それぞれのチームのベンチ前でチーム関係者からボトルを受け取り、ライン上で飲水する
- 4、 この際、審判員も飲水が可能。主審&副審1は第4審から受け取る
副審2については、反対サイドのタッチライン沿いにボトルを用意する必要がある
- 5、 飲水タイムは、30秒～1分間程度とし、主審は選手に早くポジションにつくよう指示して笛で試合を再開する
飲水に要した時間は、「その他の理由」より空費された時間として、前・後半それぞれに時間を追加する
- 6、 飲水タイムは、あくまでも飲水のためだけであり、休憩や戦術指示の時間ではない
- 7、 飲水タイムとは別に、従来通りボールがアウトオブプレーの時にライン上で飲水できる
各チーム関係者におかれましては、年間通じて試合中に飲水が出来る環境を整えていただきます様お願いします
- 8、 審判割当の関係で、連続して審判を担当する場合は、試合に支障(遅延)が生じない様に積極的に水分補給をお願いします